



2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月14日

上場会社名 monoAI technology株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5240 URL http://monoai.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 本城 嘉太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレート部長 (氏名) 松岡 壮 TEL 03 (6273) 2753
 半期報告書提出予定日 2024年8月14日 配当支払開始予定日 -
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	755	48.0	△122	-	△128	-	△313	-
2023年12月期中間期	512	-	△89	-	△88	-	△62	-

(注) 包括利益 2024年12月期中間期 △313百万円 (-%) 2023年12月期中間期 △62百万円 (-%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	△30.05	-
2023年12月期中間期	△6.12	-

(注) 1. 2023年12月期中間期及び2024年12月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益は、潜在株式は存在するものの、1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	2,249	1,831	81.4
2023年12月期	1,487	1,145	77.0

(参考) 自己資本 2024年12月期中間期 1,831百万円 2023年12月期 1,145百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年12月期	-	0.00	-	-	-
2024年12月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,636	31.5	△40	-	△41	-	△226	-	△21.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 1社 (社名) ー、除外 1社 (社名) モノビットエンジン株式会社

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年12月期中間期	12,225,380株	2023年12月期	10,359,160株
--------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2024年12月期中間期	一株	2023年12月期	一株
--------------	----	-----------	----

③ 期中平均株式数 (中間期)

2024年12月期中間期	10,447,451株	2023年12月期中間期	10,159,871株
--------------	-------------	--------------	-------------

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	
中間連結会計期間	5
中間連結包括利益計算書	
中間連結会計期間	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における当社を取り巻く環境は、インバウンド需要が増加にあるものの、コロナ禍からのリバウンド需要は一巡し落ち着きを見せる中、物価高騰により実質賃金は低下しており、個人消費の停滞が続いているなど、依然として厳しい状況が続いております。

このような経済環境の中、当社グループは引き続きオンラインを活用し、現実と仮想空間とのハイブリッドなコミュニケーションの場を、当社開発の仮想空間共有技術プラットフォームである「XR CLOUD」を通して提供致しております。当中間連結会計期間においても、メタバース空間でのイベントの開催等を行うメタバースサービス、各企業様の社内イベントや、顧客向けの展示会や、各種カンファレンス等の多様なイベントを実施するXRイベントサービス、XR全般で企業の課題解決を支援するXRソリューション開発事業や、様々なメタバースプラットフォームを駆使し顧客企業のニーズに沿ったプランを提供する新規事業開発事業や、ゲームを中心としたテスト業務受託を行うQA事業などのXR周辺サービスを提供してまいりました。

当中間連結会計期間の当社グループの経営成績は、売上高755,368千円(前年同期比242,644千円増)、営業損失122,047千円(前年同期比32,763千円増)、経常損失128,449千円(前年同期比40,058千円増)となりました。親会社株主に帰属する中間純損失は、連結子会社ののれんの減損損失を特別損失として計上したことにより313,948千円(前年同期比251,763千円増)となりました。事業全体としての高い成長を実現するために、積極的なサービス開発及び人員強化を図っており、優秀な人材を確保するための人件費の増加が主な要因となっております。

なお、当社グループは、XR事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末の総資産は2,249,331千円(前連結会計年度末比762,160千円増)となりました。

流動資産は2,040,925千円(前連結会計年度末比900,279千円増)となりました。主な増加要因は、「現金及び預金」が888,214千円増加したことによるものであります。

固定資産は208,405千円(前連結会計年度末比138,118千円減)となりました。主な減少要因は、「のれん」が191,713千円減少したことによるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は417,544千円(前連結会計年度末比75,938千円増)となりました。

流動負債は354,908千円(前連結会計年度末比88,207千円増)となりました。主な増加要因は、「その他」が95,879千円増加したことによるものであります。

固定負債は62,635千円(前連結会計年度末比12,269千円減)となりました。主な減少要因は、「長期借入金」が42,074千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は1,831,787千円(前連結会計年度末比686,222千円増)となりました。主な増加要因は、「資本金」が500,089千円及び、「資本剰余金」が500,089千円増加したことによるものであります。

企業の安定性を示す自己資本比率は、当中間連結会計期間末は81.4%であります。また、支払い能力を示す流動比率は、575.1%となっております。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における「現金及び現金同等物の中間期末残高」は、1,800,107千円(前連結会計年度末比888,214千円増)となりました。これは、営業活動によるキャッシュ・フロー35,984千円の支出(前年同期比100,698千円減)、投資活動によるキャッシュ・フロー28,067千円の支出(前年同期比47,183千円減)に対し、財務活動によるキャッシュ・フロー952,267千円の収入(前年同期比917,143千円増)によるものです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、35,984千円の支出(前年同期比100,698千円減)となりました。

主な増加要因は減損損失175,043千円、未払金の増加48,911千円、売上債権の減少19,122千円、未払費用の増

加15,102千円及び、預り金の増加10,510千円であります。

一方で減少要因は税金等調整前中間損失303,869千円及び、賞与引当金の減少13,020千円の減少要因があったことを主な理由とするものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、28,067千円の支出(前年同期比47,183千円減)となりました。

東京支店移転等により有形固定資産取得による支出18,731千円、ソフトウェア及びソフトウェア仮勘定の無形固定資産取得による支出9,286千円があったことを主な理由とするものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、952,267千円の収入(前年同期比917,143千円増)となりました。

これは株式発行による収入999,815千円、長期借入金の返済による支出41,196千円を主な理由とするものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2024年2月14日に開示の「2023年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の業績予想から修正しております。

詳細につきましては、2024年8月14日開示の「連結子会社ののれんの減損損失による特別損失の計上、及び2024年12月期の連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	941,892	1,830,107
売掛金及び契約資産	159,308	140,186
仕掛品	976	1,669
その他	38,468	68,961
流動資産合計	1,140,646	2,040,925
固定資産		
有形固定資産	10,703	68,627
無形固定資産		
のれん	191,713	—
ソフトウェア	58,678	57,573
ソフトウェア仮勘定	5,589	261
無形固定資産合計	255,981	57,834
投資その他の資産	79,838	81,943
固定資産合計	346,524	208,405
資産合計	1,487,170	2,249,331
負債の部		
流動負債		
買掛金	44,205	37,273
1年内返済予定の長期借入金	82,392	83,270
未払法人税等	12,779	13,641
未払消費税等	4,473	15,013
賞与引当金	13,020	—
資産除去債務	5,076	5,076
その他	104,754	200,633
流動負債合計	266,701	354,908
固定負債		
長期借入金	70,119	28,045
繰延税金負債	—	6,957
資産除去債務	4,697	27,632
その他	88	—
固定負債合計	74,904	62,635
負債合計	341,606	417,544
純資産の部		
株主資本		
資本金	557,657	1,057,746
資本剰余金	1,859,428	2,359,517
利益剰余金	△1,271,560	△1,585,508
株主資本合計	1,145,525	1,831,755
新株予約権	38	31
純資産合計	1,145,564	1,831,787
負債純資産合計	1,487,170	2,249,331

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)
(中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自2023年1月1日 至2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自2024年1月1日 至2024年6月30日)
売上高	512,724	755,368
売上原価	297,872	499,334
売上総利益	214,851	256,033
販売費及び一般管理費	304,135	378,081
営業損失(△)	△89,283	△122,047
営業外収益		
受取利息	4	4
受取家賃	1,053	1,223
補助金収入	2,157	—
その他	251	437
営業外収益合計	3,466	1,664
営業外費用		
支払利息	2,143	1,318
為替差損	430	146
株式交付費	—	6,602
営業外費用合計	2,573	8,067
経常損失(△)	△88,390	△128,449
特別損失		
減損損失	—	175,043
固定資産除却損	—	376
特別損失合計	—	175,420
税金等調整前中間純損失(△)	△88,390	△303,869
法人税、住民税及び事業税	3,625	3,120
法人税等調整額	△29,831	6,957
法人税等合計	△26,205	10,078
中間純損失(△)	△62,184	△313,948
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△62,184	△313,948

(中間連結包括利益計算書)
(中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自2023年1月1日 至2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自2024年1月1日 至2024年6月30日)
中間純損失(△)	△62,184	△313,948
中間包括利益	△62,184	△313,948
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△62,184	△313,948
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自2023年1月1日 至2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自2024年1月1日 至2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失(△)	△88,390	△303,869
減損損失	—	175,043
減価償却費	15,107	20,259
のれん償却額	—	16,670
受取利息及び受取配当金	△5	△4
支払利息	2,143	1,318
固定資産除却損	—	376
株式交付費	—	6,602
賞与引当金の増減額(△は減少)	△6	△13,020
売上債権の増減額(△は増加)	42,651	19,122
棚卸資産の増減額(△は増加)	△27,042	△693
仕入債務の増減額(△は減少)	△8,036	△6,931
未払金の増減額(△は減少)	△16,839	48,911
未払費用の増減額(△は減少)	△8,371	15,102
預り金の増減額(△は減少)	47,181	10,510
未払消費税等の増減額(△は減少)	△28,848	5,311
その他	△52,137	△24,660
小計	△122,593	△29,952
利息及び配当金の受取額	5	4
利息の支払額	△2,143	△1,175
法人税等の還付額	0	933
法人税等の支払額	△11,951	△5,794
営業活動によるキャッシュ・フロー	△136,682	△35,984
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△11,180	△18,731
無形固定資産の取得による支出	△32,005	△9,286
投資有価証券の取得による支出	△5,000	—
敷金及び保証金の差入による支出	△27,170	△228
敷金及び保証金の回収による収入	75	179
出資金の回収による収入	30	—
その他	1	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△75,250	△28,067
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	—	999,815
株式の発行による支出	—	△6,602
長期借入金の返済による支出	△52,998	△41,196
リース債務の返済による支出	△162	△105
新株予約権の行使による株式の発行による収入	88,284	356
財務活動によるキャッシュ・フロー	35,124	952,267
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△176,808	888,214
現金及び現金同等物の期首残高	1,387,265	911,892
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,210,457	1,800,107

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年6月26日付で、大日本印刷株式会社から第三者割当増資の払込を受けました。この結果、当中間連結会計期間において資本金が499,907千円、資本剰余金が499,907千円増加し、当中間連結会計期間末において資本金が1,057,746千円、資本剰余金が2,359,517千円となっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自2023年1月1日 至2023年6月30日)

当社グループは、XR事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当中間連結会計期間(自2024年1月1日 至2024年6月30日)

当社グループは、XR事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。